

京都市立の新しい定時制高校が開校します！

京都市立新定時制高校 校名案募集

令和3年
(2021年)
4月開校予定



現在、定時制高校では、社会構造の変化などにより、勤労青少年の学習の場としての役割が薄れる一方、不登校経験者や特別な支援を要する生徒など、様々な課題を抱える生徒が増加し、多様な学びを保障する場としての役割が高まっています。

こうした中、本市では、生徒の多様な状況や教育的ニーズに、より一層きめ細かく応えられるよう、伏見工業高校及び西京高校定時制の両校がこれまで培ってきた教育実践のノウハウを結集するとともに、両定時制高校を再編・統合し、学び直しや自立支援等の機能を充実させた「新定時制高校」の創設に向けて取り組んでいるところです。

令和3年4月の開校に向け、この4月からは新定時制高校開設準備室を設置し、両校の教員とともに、教育内容をはじめ具体的な支援方法や指導体制の構築に向けた検討を進めており、この度、学校名について校名案を市民の皆様から募集します。

応募期間

令和元年（2019年）

6月21日（金）～7月22日（月）

※郵便の場合は令和元年7月22日の消印有効

応募方法

ホームページの意見募集フォーム、
郵送、FAX（最終ページの「校名案応募用紙」をご利用ください）

新定時制 校名案

検索

※電話では受け付けておりません

送付先・お問い合わせ先

京都市教育委員会 新定時制高校開設準備室
住 所：604-8161 京都市中京区烏丸通三条下ル饅頭屋町 595-3 大同生命ビル7F内
TEL：075-222-3811
FAX：075-222-3751
WEB：校名案募集ページ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/category/179-5-10-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



新定時制高校 校名案応募用紙

多様な生徒たちが集い、社会への一歩となる学校としてふさわしい校名案を募集いたします。

つきましては、下欄に記載している「校名検討の観点」を参考にいただき、「校名」や「校名に使いたい漢字・文字（ひらがな、カタカナ）」「その校名・漢字・文字に込められた意味・思い」について、みなさまのご意見を自由にお書きください。なお、電話による応募には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

① 校名または校名に使いたい漢字・文字（ひらがな、カタカナ）

② ①の校名・漢字・文字に込められた意味・思い

③ その他、新定時制高校に期待することなど、ご意見がございましたらご記入ください

★御意見をまとめる際の参考にしますので、差し支えなければ下記の項目に当てはまる番号に「○」を御記入ください。

年齢	①中学生・高校生 ②20歳未満(①以外) ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代 ⑥50歳代 ⑦60歳代 ⑧70歳代以上
お住まい	①京都市在住 ②京都市内に通勤・通学(京都市在住を除く。) ③その他

※ 校名候補案の選定に当たっては、応募のあった校名・漢字・文字をそのまま採用するのではなく、一部の活用や複数を合成するなどして検討いたします。また、校名の著作権は京都市に帰属します。

【参考】 校名検討の観点

	校名検討の基本的な考え方
1	新定時制高校の教育理念（学び直し、生徒一人一人に応じたきめ細かい指導と支援）を表す校名・漢字・文字
2	新定時制高校が生徒の「成長できる場所」であるとともに、安心して過ごすことができる「居場所」であることを表す校名・漢字・文字
3	新定時制高校の生徒のこころざしや目標の実現に取り組む学びの場所であることを表現する校名・漢字・文字
4	中学生や保護者・地域の方をはじめ、市民の皆様に関心を持っていただける校名・漢字・文字（地名など）
5	学舎を表す「〇〇舎」や「〇〇館」など、学校をイメージできる校名・漢字・文字

新しい定時制高校の教育理念

「新定時制高校」では、伏見工業高校及び西京高校定時制の両校がこれまで培ってきた教育実践のノウハウを結集し、様々なニーズにさらに応えられるようICT等も活用し、学び直しや自立支援等の機能を充実させてまいります。

生徒一人一人に応じたきめ細かい指導や支援体制の確立など、生徒が「この学校で学べて本当によかった」と実感できるような教育環境を整え、基礎学力の定着・向上はもとより、社会性やコミュニケーション力を育むことで、社会的自立の基礎を築き、就職・進学等の進路希望の実現を目指してまいります。

学校規模

1学年80人程度、1クラス
20人程度を想定

学科

多様な進路ニーズに
応えるために普通科
を設置

キャリア教育

ソーシャルスキルトレーニングやキャリアデザインなどを学ぶ科目を中核として、学校の教育活動のあらゆる場面を活用しながら、社会人基礎力とキャリア意識を育みます。

3年制・4年制

3年間で卒業を希望する生徒や、ゆっくりと自分のペースで学び4年間での卒業を希望する生徒に対応するため、3年制と4年制を設置します。

資格取得

学びの動機付けや達成感が得られることを目標にしつつ、生徒のキャリア形成につながる資格の取得に取り組みます。

指導支援体制

総合育成支援教育に関するアドバイザーや臨床心理士、社会福祉士、さらにはキャリア支援などの専門家と連携を図り、生徒一人一人に応じたきめ細かい支援体制を確立します。

遠隔教育

通学意欲がありながらも登校できない生徒に対して、学習を継続できるよう、ICT機器を活用した遠隔教育の実践研究を進めています。
(分身ロボット OriHime 等の利用も研究しています。)



分身ロボット OriHime

昼間・夜間2部制

午前遅めの時間からスタートする昼間部と夕方からスタートする夜間部を設置します。

学び直し

国語・数学・英語を中心とした学び直しを、入学当初に集中的に行い、高校での学習の土台を築きます。

新しい定時制高校の概要・特色

通級による指導

発達障害等、支援の必要な生徒に対して、通級による指導を取り入れて、自立活動の支援に取り組みます。

通級による指導
障害による学習上・生活上の困難を、生徒が主体的に改善・克服するために、個別に行うきめ細かな指導

居場所カフェ

昼間部・夜間部両方の生徒が共に集える夕方の時間帯に、仲間や大人とおしゃべりを楽しみ、悩みの相談もできる「場」の開設を検討しています。

総合的な探究の時間

ものづくりやビジネスなどの「実務を通した学び」を行いながら、課題発見・解決力を育みます。

少人数講座

生徒の学習及び進路希望等を十分に保障するため、きめ細かい少人数講座を展開します。

生徒同士や地域との交流

昼間部、夜間部の生徒が共に集える夕方の時間帯に、部活動や学校行事、さらには地域の異年齢・異世代の方との交流や進路意識を高める取組など、自己肯定感を育むための活動を行います。

〔交流ホール イメージ〕



〔交流広場 イメージ〕



新定時制高校 所在予定地



京阪伏見稲荷駅から徒歩5分
JR 稲荷駅から徒歩8分
地下鉄十条駅から徒歩10分